

「市長と保育士等との意見交換会」発言に対する対応方針（意見交換）

番号	発言者	発言要旨	市長回答
1	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士不足は本当に深刻で、正規職員の確保が厳しく、現場の職員の負担も大きい。保育士・保育所支援センターから連絡が来ることもあるが、ほとんどが就職に至らない状況である。 ・同じ職員が早番、遅番の固定になっているなど、現場職員の負担が大きい。年々、家庭環境面での問題や支援の必要なお子さんも増えている。 ・責任が大きく、仕事に合わない賃金であり、若い方でも常勤職員、正規職員になりたがらず、パートで働く方が増えている。 ・企業主導型保育施設や療育施設の数が増え、保育士が働く場所が分散している。 ・待機児童対策として、潜在保育士に奨励金を支給するとあったが、潜在保育士に奨励金を支給するだけでなく、今、現場で頑張っている保育士にも目を向けていただきたい。離職者を出さないことも大切である。 ・私が勤めている施設がある谷山地区の開発は、以前から計画されてきたことであり、ファミリー層が増えるのは予測できたことだと思う。全国でワースト1位になってからの取組みや対応の遅れを感じている。 ・私は、保育士の仕事が好きで、子どもたちの成長を間近で感じ、保護者と喜びを共有し、子どもたちの笑顔を見るのが好き。 ・本気で待機児童数をなくすのであれば、ゼロは難しいと思うが、早期の対応が必要だと思う。 ・鹿児島市を、子どもはもちろん、保育士、働く保護者の方にとって子育てしやすい街にしてほしいと願う。 ・今後の具体的な対策をお聞きしたい。 	<p>（保育士確保のあり方について）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の保育士確保のあり方については、離職防止が非常に重要になるので、他都市の取組みや、必要な財源の額を含めながら、アンケートの結果等も踏まえ検討していきたい。 <p>（今後の具体的な対策について）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後については、保育士・保育所支援センターにおいて、臨床心理士、社会保険労務士による相談体制を整備するとともに、既存施設を活用した2・3号利用定員の増員や施設整備などにより、積極的な保育の受け皿整備に取り組んでまいりたい。 <p>（配置基準の設定について）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市独自の配置基準の設定については、多額の財源が必要となるので、実際にどこにどう手を打てばいくら財源が必要になるのか、他都市の取組みなども参考にしながら検討したい。
2	B	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士配置基準は、鹿児島では国が定めている基準になっているが、国の定めている配置基準は70年変わっていないと聞く。 ・私は、もともと異業種で働いており、その後企業主導型保育施設で働き、現在認可保育所に勤めているが、認可保育所は行事も多く、持ち帰り仕事もあり、保育以外の業務が多く、すごく大変だと思う。そのため、入職しても辞める方が多いと感じる。 ・新しく園児を受け入れたくても、保育士が足りないので受け入れられない。 ・鹿児島市は、0歳児の子ども3人を保育士1人で、1歳児の子ども6人を保育士1人で見ると基準になっているが、実態としては、その基準では保育できない。 ・他の県や市町村などによっては、独自の配置基準を設けているところもある。配置基準を見直せば、もっと余裕も出て、保育士1人あたりの給与も変わっていくのではないと思う。鹿児島市独自で配置基準を設ける予定はないのか聞きたい。 	<p>（アンケートについて）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・離職防止に向けた職場環境の改善に向けて、他県で実施したアンケートを参考にしたと報告を受けているが、今後、アンケートを行う際においては、優れている取組みや、こういう取組みがあるから保育士を続けている等について、ご意見を伺えるような内容を考えたい。
3	C	<ul style="list-style-type: none"> ・本園は、吉野地区にある幼保連携型認定こども園で、園児は170名以上、職員は50名程おり、他園や国の基準よりは多く配置できていると思う。国の配置基準よりも多い保育士を配置しても、精神的・体力的に非常にきつい仕事である。 ・子ども主体の保育を行えるように取り組んでいるが、人が足りないうえに、その他の保育以外の業務（地域支援、障害児の受入れ、医療的ケア児、幼保小連携、事故防止のための安全管理）をしながら保育をして、子どもたちのことも考えて、ご家庭の支援をしていると、手が回らない部分がある。 ・全国の中には、財源を確保したうえで独自の配置基準を設定している自治体もある。鹿児島市も少し税金を上げてでも、ぜひ、前向きに検討していただきたい。 ・不適切保育の報道を受けて、自分たちの関わりも不適切になっていないかなど、職員間でディスカッションした。報道を見ると保育士の行動の方をピックアップされてしまうが、保育士だけの問題ではないように感じている。保育士がそういう関わりをしてしまう背景には何かあるのではないと思う。保育士を守るためにも、ぜひ、配置基準の見直しを検討していただけたら嬉しい。 ・意見交換会の中だけでは伝えきれない部分も多いので、市役所の方々に、現場を見に来ていただく機会を検討していただきたい。 	<p>（保育所の適正な利用について）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土曜日の利用を含めた保育所の適切な利用のあり方の検討については、市保育園協会からも要望を受けているので、担当課に検討を指示している。 ・親と子が触れ合う時間をできる限り確保することが、子どもの健やかな成長の上で重要であると考えているので、どうすれば土曜日を含めた保育所の適切な利用が伝わるのか、現在、他都市の取組みを参考にしながら検討しているところである。

「市長と保育士等との意見交換会」発言に対する対応方針（意見交換）

番号	発言者	発言要旨	市長回答
4	D	<ul style="list-style-type: none"> ・待機児童を解消するためには、保育の質の向上が必要だと思ふ。 ・アンケートの内容を見ると、この仕事は大変で過酷な仕事だという印象を一般の方が持っていると感じた。そうではなくて、保育の質を上げること、また、保育所保育指針も1人1人を大切に作る保育という内容に変わっているのだから、そういう保育をすることによって保育士の負担も減ると思ふ。私の園では、以前は一斉保育をしていたが、現在担当制保育に変えた。また、空き時間を使って書類を書く等、時間のやりくりをしている。 ・鹿児島全体の保育の質を見直すのが待機児童の解消につながっていくと思ふ。 ・主任補佐をしており、若い職員が入ってきて、1人1人の性格を考えながら、言葉を選んで育成しているが、言葉によって、自分に保育士は合わないのではないか、また、保護者からのクレームによって、心を痛めて辞めていく職員がいる。入職してから、保育士の仕事を覚えつつ、社会性を身に着けることは難しいと思ふので、養成校のうちに、働くとはこういうものだという基本的な社会性を身に着けて入職したら、離職防止につながると思ふ。 ・エッセンシャルワーカーとして代わりの利かない仕事をしており、4月から翌年3月までの1年間、子どもたちを担当するが、途中でやめる職員を何人も見てきた。養成校での教え方・学び方を考えていただけると今後につながるのではないかとと思ふ。 ・鹿児島全体の保育の質と保育士の社会性の向上を図ることが1番の解決策になる。 	<p>(主任保育士専任加算について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主任保育士の加算制度については、実務的な内容になるため、後ほど担当者から回答させていただきたい。 <p><会終了後、保育幼稚園課から説明></p> <ul style="list-style-type: none"> ・主任保育士専任加算は、主任保育士を保育計画の立案や保護者からの育児相談、地域の子育て支援活動に専任させることができるよう、代替保育士を配置している施設に加算されるものであるため、主任保育士がクラス担任を兼務することや、常態的にクラスに入ることは適当ではない。 ・ただし、早朝や夕方の時間帯に勤務時間外において応援として保育業務に従事することを妨げるものではない。
5	E	<ul style="list-style-type: none"> ・私は保育士5年目で、最初は不安や失敗もあったが、今はやりがいをもって仕事をしている。 ・先般、市が実施したアンケートの内容を拝見したときに、その内容において、保育士が悪いように誘導された質問が多数あったと思ふ。アンケートを作った方が、保育園の現場を知らないのかなと思ひ、深く心を痛めた。保育士という立場がかわいそうで特別ではないということを理解してほしい。 ・私たち若手の保育士が、このようなメールを見て傷つくという想定はできなかったのか。 ・誤解を招く質問の仕方で、二度とこのようなアンケートをしないでほしいと思ふ。 	<p>(奨学金返済補助の拡充について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在勤めている保育士への奨学金返済補助の拡充については、多額の財源が必要となるので、実際に実施するとなるといくら財源が必要になるのか、他都市の取組みを参考にしながら検討したい。 <p>(仕事の悩みについて)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事の悩みや労働環境については、保育士・保育所支援センターにおいて、臨床心理士、社会保険労務士による相談体制の整備をしていきたいと考えているので、ぜひご利用いただきたい。
6	F	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所の適正な利用について意見交換したい。 ・保育所をサービス業と勘違いしている保護者が多いという印象を受ける。 ・保育園は、保護者が就労をしている中で、家庭で子どもを見ることができないということが条件なので、保護者がリフレッシュのために保育所を利用することもあるかもしれないが、1番は子どものことを大事に思っほしいので、そういう使い方は適正な利用ではないと思ふ。 ・保育園はどういう場所なのか、どういう施設なのかということ、適正な利用についてを市長から発信していただけないかなと思ふ。 ・また、保育所がサービス業ではないと強く発信してもらいたい。 	<p>(クレームについて)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所そして、様々な業界で、度を越えたクレームにより、実際に業務にあたる方々が疲弊することが大きな問題だと思っている。この解決は、市保育園協会等と連携しながら、それぞれの施設でどのようなクレームが寄せられているのか洗出しを行い、市民の皆さんや保護者の皆さんに適切な保育所の利用を啓発することにより、防げるものがどれくらいあるのかを把握し、実際に度を越

「市長と保育士等との意見交換会」発言に対する対応方針（意見交換）

番号	発言者	発言要旨	市長回答
7	G	<ul style="list-style-type: none"> ・施設に実習生が来るものの、なかなか就職に繋がらないのが現状である。夢は持って養成校に行くものの、実際に教育実習に行くと、こんな仕事は私にはできないと思わせてしまっているのが、なかなか就職者が見つからない原因なのかと思う。 ・ICT化への取り組みやノンコンタクトタイムが取れるように努力するなど、企業努力をしており、そこを改善して、どうやって求職者を獲得していくかを考えている。 ・私が市長に聞きたいのは、主任保育士専任加算対象者の業務には、保育が含まれておらず、早出、遅出が超勤扱いとなるのは、何故なのかということを知りたい。 ・私たちが考える主任保育士の業務は、事務仕事だけではなくて、子どものこと、保護者のこと、保育に関わる職員のことをどの時間においても把握しておくことが仕事だと思っている。 	<p>えたクレームが来たときの保育士の皆さんを守るためのあるべき園の対応について、どのような対策ができるかなどについて、検討に取り組んでいきたい。</p>
8	H	<ul style="list-style-type: none"> ・私は県外の養成校で学び、地元（鹿児島）に就職したが、他県で就職をしていたら、今頃、奨学金の返済が終わっていたのにとすることがある。これから就職する人には返済補助の制度があるのに、現在勤めている保育士への奨学金返済補助や軽減はないのか。現在勤めている保育士への奨学金返済補助や軽減があれば、地元の就職につながるのではないかと思う。例えば、横浜市で奨学金を借りれば、5年同じ施設に勤めれば奨学金が免除になる。鹿児島市でも取り組みればもっと若い保育士も鹿児島市で働きたいと思うきっかけになるように感じた。 ・保育士という立場でもっと発信できることがあるんじゃないかなと思ったときに、子どもを育てる楽しさを伝えたいと思った。 ・この仕事は体力がいるし、持帰り仕事もある。市から業務改善のアナウンスをすれば、1時間休憩の取得にもつながる。暗黙の了解で、お昼の1時間休憩はとれない。ほかの企業（業種）では取れるのに、保育士は何故取れないのだろうと思う。勤務内で1時間の休憩が取得できるように改善してほしい。 	
9	I	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からのクレームに心を痛めることがある。 ・市は、保育所と保護者の中立の立場と言いながら、保護者に寄り添い、園の責任を問うような形で事実確認の電話をしてることが多い。保護者からのクレームが入ったときに、事実確認してくれるのはありがたいが、そのクレームに至るまでの背景も考慮した上で対応していただきたい。 ・また、クレームは年々エスカレートしていると感じる。保育所はサービス業ではなく、しっかりとした福祉施設であることを、市が伝えていけばこういうクレームも減るのではないかと思う。 ・保護者が、自分の思いが通るまで、園が自分に寄り添ってくれるまで、園又は個人を攻撃してくることがあり、とても心を痛めた。市役所がもっと保育所の適正利用について伝えれば、減るクレームもあるのではないかと思う。 ・どのような対応ができるのかお聞きしたい。 	